

第667回番組審議会報告

2022年4月5日開催

■出席委員

佐藤卓己委員長 佐藤友美子副委員長 川瀬慈委員、鯨岡秀紀委員
栗栖義臣委員、津村記久子委員、西村久美子委員、増山実委員

■毎日放送出席者

虫明社長 宮田専務 高山常務 磯澤取締役、藪内取締役、酒井取締役
横田総合編成局長 津田コンプライアンス局長、中西番組審議会事務局長

◆議題

1. 委員長・副委員長の選出

今年度の委員総数は前年通り8人。委員長に佐藤卓己委員、副委員長に佐藤友美子委員が引き続き選出された。

2. 報告事項

(1) テレビの4月改編の概要について、総合編成局長が報告した。

(2) 放送番組の種別の公表制度に基づき、2021年度下期6か月分の番組種別ごとの放送時間を総合編成局長が報告した。あわせて同期間のCM総量及び4月以降の基本番組表についても報告した。

◆議事の概要

2-(1) テレビの4月改編について

4月改編は、改編率は昨年4月が35.7%、昨秋21.8%に比べ12.4%の若干落ち着いた改編となっている。ゴールデン(19時～22時)では18.1%、プライム帯では20.5%。日曜日の17時にアニメ枠を復活し、『所さんお届けモノです!』を土曜日7時半の枠に移行した。『サタプラ』は、枠小して7時58分スタート。火曜日の19時枠で『サンドウィッチマンのどうぶつ園飼育員さんプレゼン合戦ZOO-1グランプリ』がスタート。JNN系列のCBCテレビ制作で、飼育員さんにスポットを当てる番組。ドラマは、火曜ドラマ『持続可能な恋ですか?～父と娘の結婚行進曲～』、金曜ドラマ『インビジブル』日曜劇場は『マイファミリー』がスタートする。また深夜にMBS制作のローカル枠を設定し、「ドラマシャワー」と銘打って、今回は『不幸くんはキスするしかない!』全8話を放送する。

2－(2) 「放送番組の種別」の報告について

2021年度の下期は総放送時間が6万415分。報道番組1万2,049分(総放送時間の19.9%)、教育9,508分(同15.7%)、教養1万5,352分(同25.4%)、娯楽1万9,866分(同32.9%)、通販3,127分(同5.2%)、その他558分(同0.9%)。前年同期と比べて教育と教養が増加し報道が減少している。また、この半期のCM放送実績は1万654分31秒で、総放送時間に対する割合は17.7%。

以上